

くまもと夢への架け橋ネットワーク構想

背景 熊本市内への人口一極集中→地域の活力低下→若年層人材の流出
 地方で学ぶ強みを理解しながら新たな資源を発掘し、生かしたり、新たな魅力や価値を創造できる人材育成が必要

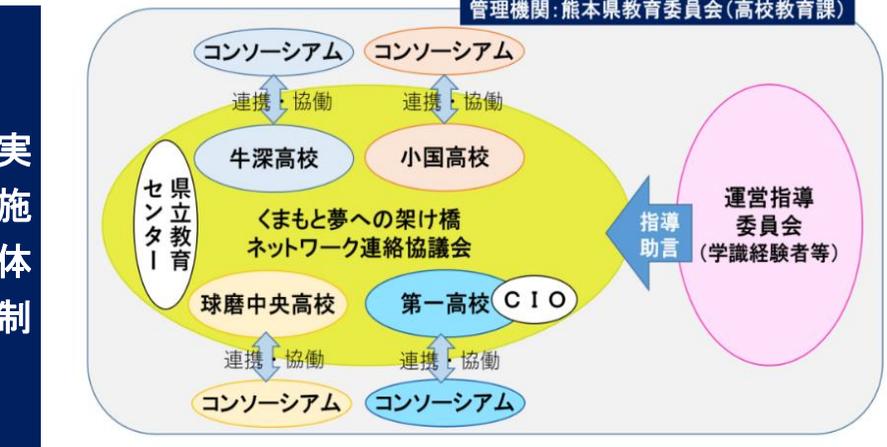
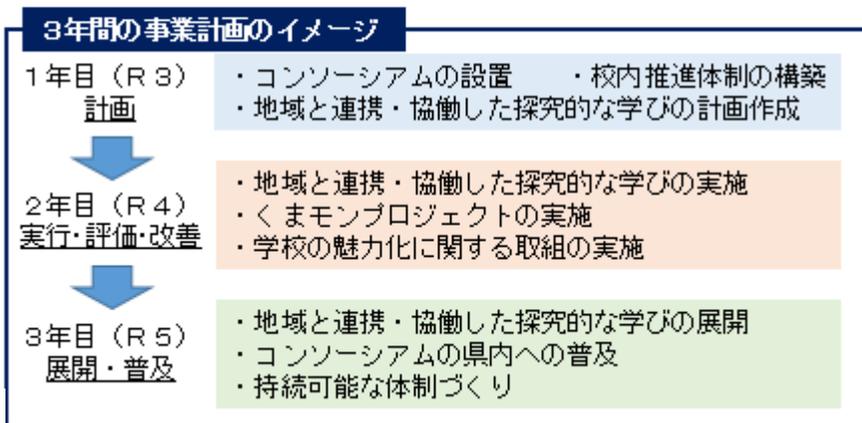
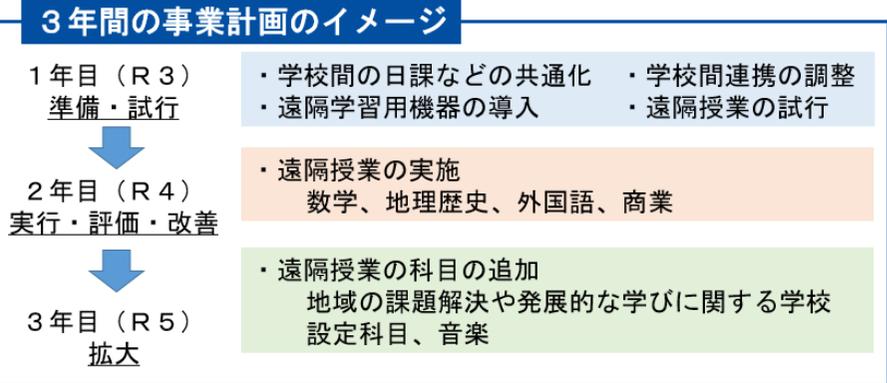
目的 「多様な学びの中で、地方の資源を発掘し、活かし、伸ばす人材の育成」
 「地域の人材育成の拠点、心の拠り所として、なくてはならない高等学校の実現」

- 生徒の資質・能力の育成
- 高校の魅力化
- 地域の活性化

構成校：第一高等学校、小国高等学校、牛深高等学校、球磨中央高等学校、熊本県立教育センター

ICTを活用した連携・協働の取組の概要
 ○第一高校・県立教育センターを主たる配信拠点とした遠隔授業の実施
 (第一高校、小国高校、牛深高校、球磨中央高校、県立教育センター)

関係機関と連携・協働する体制の構築に関する取組の概要
 コンソーシアムと連携・協働した、
 ○地域の拠点としての高等学校づくり
 ○地域の課題解決のための探究的な学びの実施



今年度の成果

- 遠隔授業を受けた生徒の評価や変容
学校間を超えた生徒交流を軸に、新しい授業や探究的な学びの形を創出
- 遠隔授業や探究的な学びを行う運営体制の確立
クラウドを活用した教育課程の共通化や授業づくり、探究的な学びに関する教育方法の共有

今後の課題

- 熊本版COREハイスクール・ネットワークに向けた運営体制の確立